

新入生を迎えて 入学式・フレッシュマンセミナー・カリキュラム更新

●入学式

4月2日、新入生を迎えて入学式が挙行されました。



フレッシュマンセミナー開講式

●フレッシュマンセミナー

3月末から始まった新入生オリエンテーションのまとめとして、4月4～5日、安房鴨川で



安房鴨川、水田三喜男生家にて

フレッシュマンセミナーが行われました。

●カリキュラム更新

第2外国語としてポルトガル語、ポーランド語、チェコ語、マレー・インドネシア語などが増設されました。日中翻訳・通訳、日韓翻訳・通訳に関する科目が充実しました。英語で学べる授業科目が多数開設されました。詳しくは国際文化学科ウェブサイト、Newsページをご覧ください。

ハワイ日本語教育インターンプログラム 研修報告



2月、姉妹大学であるハワイのリーワードコミュニティカレッジで、日本語教育実習がおこなわれました。この研修は、国際交流基金から助成を受け、国際人文学部の学生10名が派遣されています。

教育実習では、同カレッジの学生たちに日本語の初級文

法を教えました。実習生たちは、授業の教案・教材を作成し、何回も練習を重ねた上で実際に教えます。また、カレッジの先生方のアシスタントとして、授業のお手伝いもさせて頂きました。授業後は、先生方からアドバイスを受け、日本ではなかなか気がつかなかったことや、カレッジの学生の反応から、多くのことを学びました。

日、100分ぐらいの授業を教えました。



また、授業外では、リーワードコミュニティカレッジの学生たちと、英語と日本語で交流を深めました。フラダンスのレッスンや、ハワイのカルチャーも学びました。



これまで日本語教授法の理論や教え方を学んできましたが、このように実践でき、大変、貴重な経験になりました。2、3人が1つのグループになり、チームティーチングで毎



ニュース

●新入生を迎えて

●ハワイ日本語教育 インターンプログラム

研修報告

P1

●国際文化研修

(京都)実施

●「能楽囃子講座」で 鑑賞・演奏体験

P2



城西国際大学
国際人文学部
国際文化学科

〒283-8555
千葉県東金市求名1番地

TEL:
0475-55-8800 (代)

FAX:
0475-55-8811

学科Web サイト

URL:

<http://www.jiu.ac.jp/cultural>

国際文化研修(京都)実施

2月16から19日、「国際文化研修(京都)」を実施しました。留学生21名を含む45名の国際文化学科学生が参加しました。



今年度は、「国際都市京都と観光」をテーマとし、京都市が策定した「未来・京都観光振興計画2010+5」を学習材としました。国際観光の活性化に伴い、京都の宿泊外国人観光客は増加の一途を辿っています。海外からの観光客をどのようにもてなし、日本文化を伝え、経済の活性化につなげるのか、様々な課題があげられます。



参加学生は、班別に分かれて事前に各研修地につ

いて基礎的な調査をしました。上記テーマを踏まえて各自の研究テーマを設定し、研修と見学を行いました。研修後は各自のレポート作成、班別のオリジナルガイドブックの作成作業に取り組みました。



今回は、京都市の取り組みがよくわかる施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」と「京都伝統産業ふれあい館」を訪れました。「あじわい館」では、「食の語り部」黄瀬先生と「農産物の語り部」蔦川先生から、京の食文化や、京都における農産物の流通について講義していただきました。「ふれあい館」では、摺型友禅染体験でハンカチ



やコースターに思い思いの柄を染め、持ち帰りました。



各地でボランティアの方々から解説をしていただく機会も多くありました。京都文化博物館では、中国人留学生が、中国人ボランティアの中国語による解説を聞いて、京都の歴史や文化に対する理解を深めることができました。これらは、京都を訪れる人々に京都の伝統文化を発信していく取り組みであるといえます。



今回の研修でお世話になりました方々に心より感謝申し上げます。

「能楽囃子講座」で鑑賞・演奏体験

2月13日、東金キャンパスで、大倉源次郎先生(大倉流小鼓方十六世宗家)を講師にお招きして「能楽囃子講座」が行われました。国際人文学部の学生と、地域の方々併せて約100名が参加し、盛会となりました。

大倉先生は、演奏活動の傍ら、能楽の囃子の普及に努められ、日本の音文化の代表的な担い手として、国内外で広く活動されています。



演奏させていただきました。

能楽を研究しているポーランドからの留学生(国際交流学科)も参加し、「二度とない貴重な経験でした」と感激の面持ちでした。

今回の講座は、NPO法人<むすびの会>の斡旋によって実現に至りました。当日の様子は「むすびの会」のFacebookにも紹介されました。

当日は、大鼓(おおつづみ)、太鼓、能管の演者の方々とともに、講演と演奏、及び演奏体験指導を二時間にわたって展開されました。お囃子の御道具に初めて触れる学生がほとんどでしたが、4種の御道具(楽器)を間近で拝見したり、音を出す指導を受けたりしました。最後、代表3グループが実際に小鼓を持ち、会場の参加者は「エア小鼓」で三番叟を全員で

